

# 常任委員会のページ

総務民生常任委員会  
2月26日開催

## (1) 一般廃棄物処理施設 「中・北空知エネクリーン」

歌志内市に建設中の同施設は4月の本格稼働に向け、現在試験運転を実施している。

ごみの処理能力はストーカー式焼却炉1炉当たり1日42・5トン。2炉で14市町の可燃ごみ全量を受け入れ焼却する。現在、炉への供給、燃焼、発電設備等の試験を24時間体制で行なっている。

焼却の余熱で自家発電した電力（一般家庭3千戸分）は、当該施設で使用することともに、余剰電力は北海道電力に売電（年間目標2千万円）する。

焼却炉から出る排ガス中の有害物質は3種類の処理設備にて除去され、焼却灰は歌志内市が管理する最終処分場にて処理する。



ゴミを吊り上げ焼却炉へ



搬入されたゴミ



説明を受ける委員

## (2) 新十津川町消防団の活動状況について

○ 団員102名（女性5名）  
○ 訓練・活動状況

消防演習でのポンプ車操法訓練、放水訓練、小隊訓練、機械器具点検や火災予防広報活動、警戒巡視など幅広い。

○ 出動状況

過去3年で327件。出動には火災、豪雨災害のほか行方不明者の捜索活動など。

○ 費用弁償

災害出動は4時間を1単位で3100円。警戒出動・訓練は2800円。

○ 退職報奨金

25年勤務の場合団長で60万9千円、団員では46万9千円。

**Q** 消防団員はどのような訓練や教育を受けているのか。

**A** 北海道消防学校にて3泊4日の研修を受ける。消防団に入ってから5年未満の団員は普通課程。幹部課程もある。

**Q** 仕事を持つ団員が出動しやすいように、勤務先に理解を得るような働きかけは。

**A** 団員が勤務する職場や団体の理解は得られている。

**Q**

団員に年齢制限はあるのか。

**A**

無い。消防後援会などから声をかけてもらって団員を募集している。女性団員の職務は。

**Q**

火災予防啓発活動や普通救命講習の補助員などソフト的な任務に重要な役割を担っている。火災現場に出動することは無い。

**Q**

「家庭から火事を出さない」啓蒙活動を展開している。火災予防運動にも協力してもらっている。

**A**

「家庭から火事を出さない」啓蒙活動を展開している。火災予防運動にも協力してもらっている。

**A**

「家庭から火事を出さない」啓蒙活動を展開している。火災予防運動にも協力してもらっている。



平成25年出初式

## (3) 町内防犯灯LED化事業

平成25年度に町内966灯の防犯灯をすべてLED化する。

総事業費 3423万円  
工事の負担割合

町 5/6  
各行政区 1/6

行政区負担分は、LED化して削減される電気料とほぼ同等で、実質的負担金額は変わらない。

**Q** 防犯灯を新設したい場合は。

**A** この事業は、既存の防犯灯をLED化に更新するのが基本。新設・増設は今までどおりの制度が適用される。

(4) 行政区自治会館の耐震診断結果（一次判定）

・ 改修 大和区  
・ 建替え 弥生区

・ 改修・建替えを検討 橋本区、みどり区、菊水区  
・ 今後耐震診断を実施 文京区、花月区

・ 耐震基準を満たしている 総進区  
中央区、青葉区、徳富区